地道な活動全国表彰へ！
岩室中学校ボランティア事務局

毎年、年間目標を掲げて
通学路等の検証
海岸清掃活動
空き缶の回収等に
生徒会員がボランティア局員
として参加。
自然や郷土を愛し、
奉仕する心を養っている。

―受賞理由―

全国防犯協会連合会・警察庁共催による、平成九年度全国地域安全運動中央大会において、岩中ボランティア事務局が、「功労ボランティア」として表彰を受けました。全国でも19団体、小・中学校では、岩中ただ一校という栄誉に輝きました。

『自分を高めたい、友達をたくさんつくりたい、地域のたくさんの人との出会いのチャンスを広げたい、困っている人の役にたちたい、中学生生活の思い出をつくりたい、こんな人はどんどんボランティア局員になってください。』これは、毎年一般局員を募集する際のキャッチフレーズです。この趣旨に賛同し一般局員になった生徒は全校生徒、中には、複数の係を希望する熱心な生徒も増えています。そんなボランティア局の活動は、年間を通してさまざまな分野に及んでいます。

■ボランティア局年間活動

・四月～五月　「緑の羽根共同募金」
募金の呼びかけ、募金活動・集計
・六月　「岩室温泉病院一日ヘルパー」
車椅子の清掃、お年寄りとのふれあい
・八月　「間瀬海岸清掃活動」
海岸の清掃・美化
「あすなろ会」実施
老人クラブなどの各団体と、趣旨に賛同する個人と合同で実施する「全村的クリーン作戦」
※異世代間の交流を目的に、老人クラブとの合同でスタートした清掃活動、現在は、婦人会や風の会などからも参加者を得て、今や参加者は六〇〇人を超えています。
・十月　「赤い羽根共同募金」
募金の呼びかけ、募金・集計
・十一月　「岩室温泉病院訪問」
お年寄りとのふれあいが中心
・十二月～一月　「やひこ養護学校交流会」
養護学校の生徒とのふれあい
年間を通して
「アルミ缶回収活動」「牛乳パック回収治動」

このような活動を、生徒自ら計画し、実行してきた局の運営は、規約・役員体制などにも優れ、とても安定した組織といえます。

今回の受賞を契機に、より一層の活躍が期待されると同時に、中学生の活動から、われわれ社会全体の意識の高揚が必要とされるところでもあります。

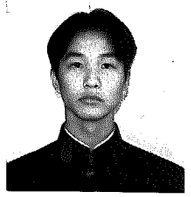
「温泉病院へヘルパーに行った時、おじいちゃん、おばあちゃんが泣いてよろこんでくれた…やってて良かったと思いました。」

「村全体でアルミ缶回収に取り組めば、もっと車椅子が買えるのに……。」

「前よりも、うちのおじいちゃんおばあちゃんを、大事にしてあげようと思えるようになりました。」

―局員―

『功労ボランティア』賞を受賞して

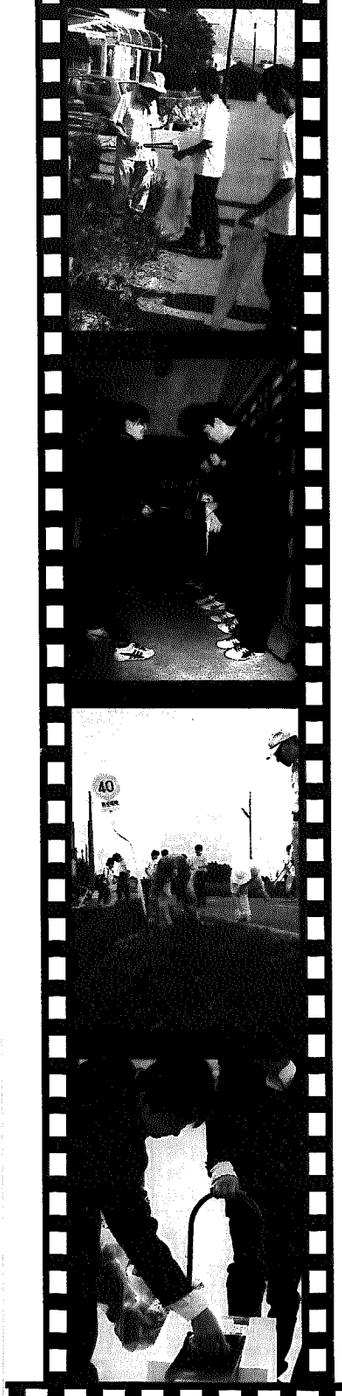


僕達岩室中学校ボランティア局は、アルミ缶・牛乳パック回収活動や間瀬海岸清掃、通学路を老人会の方々と交流しながらきれいにするあすなろ会（ふれあい歩け歩けクリーン作戦）、「いわむろの里」や「岩室温泉病院」を訪問し、ヘルパーなどの活動を行ってきました。

昨年度は、皆さんからご提供いただいたアルミ缶回収作業の結果、車椅子を2台岩室温泉病院に贈呈することができました。またあすなろ会では、老人会や婦人会、社会福祉協議会、公民館など地域の方々のご協力のおかげで、私たちの郷土の通学路をきれいにすることができました。

これらの活動が評価されて、今年「平成九年　全国地域安全運動　中央大会」にて「功労ボランティア賞」を受賞することができました。顧問の先生の話では、全国のうち、この「功労ボランティア賞」を受賞できたのは19団体で、小・中学校の受賞は新潟県の岩室中学校だけだそうです。だから表彰式も、警察庁長官や自治大臣があいさつや祝辞を述べてくれるほどだったそうです。

こんなにすごい賞を受賞できたのは、アルミ缶や牛乳パックを提供してくれたり、ボランティア活動を私たちと一緒にやってくださったみなさんのご協力やご支援のおかげです。

僕達ボランティア事務局員と一般局員は今回の受賞を励みにし、さらにこれからも一生懸命頑張っていくつもりです。村民の皆様も引き続き、気軽にご支援やご協力をよろしくお願いします。

岩室中学校
ボランティア事務局長
瀬戸川　純一